

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	第1回伊勢崎市立学校の適正規模等に関する基本方針検討委員会
開 催 日 時	令和8年7月8日（水）午後1時31分～午後3時00分
開 催 場 所	伊勢崎市役所本館3階 災害対策室
出 席 者 氏 名	【委員 11名】 青木委員、関委員、小林委員、齋藤好康委員、諏佐委員、巽委員、田部井委員、三木委員、眞下委員、齊藤久枝委員、皆瀬委員 【事務局 8名】 三好教育長、二上教育部長、高橋教育部副部長 教育部教総務課 大平課長、阿左美総務係長、青木総務係長 学校教育課 神立課長、赤岩学校支援係長
傍 聴 人 数	1人
会 議 の 議 題	1 開会 2 委嘱状等の交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 委員長・副委員長の選出 6 議事 (1)会議の運営に関する確認事項について (2)市内小中学校を取り巻く環境の変化と課題について 7 その他 8 閉会
会 議 資 料 の 内 容	・次第 ・資料1 検討委員会設置要綱 ・資料2 検討委員会委員名簿 ・資料3 検討委員会スケジュール（案） ・資料4 市内小中学校を取り巻く環境の変化と課題
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1 開会 2 委嘱状等の交付 任期は令和8年7月8日から学校の適正規模等の調査研究が終了するまでの間 3 教育長あいさつ 4 自己紹介（委員・事務局職員） 5 委員長・副委員長の選出 互選により青木委員長、関副委員長に決定

6 議事

(1)会議の運営に関する確認事項について

事務局より、資料に基づき、設置要綱、所掌事務、スケジュール案について説明があった。

【意見・質問等】

● 各学校の課題に含める範囲を確認したい

- ・外国籍児童生徒の増加、特別な支援を要する子ども、部活動地域展開、非認知能力の育成などを例示した。
- ・課題によっては現場を知る説明員を本委員会に招いて意見を聞く機会を設ける。

(2)市内小中学校を取り巻く環境の変化と課題について

事務局より、資料に基づき、市内小中学校を取り巻く環境の変化、平成27年度に策定した本市における学校規模の基準、国が定めた学校規模等の基準、小中学校の児童生徒数の推移及び検討委員会で取り上げたい議題について説明があった。

【意見・質問等】

● 適正規模とは学級数のことか

- ・適正規模は学級数を基準に検討することを確認した。
- ・適正基準の数値のみならず、子ども・保護者・地域の視点を含む多角的検討が大事である。

● 通学距離は気温の上昇を考えると短い距離の方がよい

- ・非認知能力の育成には、一定の集団規模を確保することに利点ある一方で、学校の統合は、通学距離の増加や学校が地域の核として担ってきた役割との兼ね合いなど、様々な課題を伴うため、複雑で難しい問題である。
- ・様々な角度から、学校規模のメリット、デメリットと通学区域の問題を総合的に検討することの重要性を確認した。

● 学級数が減ることで、教員の数も減る問題について

- ・適正規模は教員数の確保の観点からも検討する必要がある。
- ・教員数の減少により、専科未配置、一人あたりの教員の負担増、教員同士の学び合いの機会の減少等の懸念がある。
- ・一定の学校規模を確保することで、専科教員の確保、教員同士の学び合い、校内研修、授業実践の共有等が可能になる。
- ・学校の教員定数は国・県の基準で定められており、小学校では専科教員の配置が制限されている現状がある。

● 保護者視点からみた学校規模と地域での見守り活動への影響について

- ・教員数が少ないと、一人の子どもに対する見守りの割合が下がる懸念がある。
- ・登校時の旗振りの負担や回数も課題である。
- ・教員の負担軽減のため、学校に専任性のある支援者やお手伝いを導入する取組、技能・知識をもった外部人材による教育の質を高める取組をしているところもある。

● 地域に増加する外国籍世帯・児童の就学状況に関する問題について

- ・幼稚園には多国籍の園児が在園し、日本語ゼロの状態で入園してくるため、教員負担が大きい。

	・小学校での外国籍児童支援の仕組みを紹介。日本語習得状況に応じた日本語学級での学習、初期対応拠点校での文化・生活指導など。 ・教職員数、外国籍児童生徒などの学校が抱える問題を、適正規模・適正配置の議論と合わせて検討することが大事である。 ● 北小学校特認校制について ・平成21年4月に設置。 ・地域と学校を融合するコンセプトで設置。赤石楽舎やメインストリートがあり、地域住民がいつでも学校を利用できるように作られ、本市で最初のコミュニティスクールである。 ・市域全児童の選択機会を確保するために特認校化。校区外から通学可能だが、実態は近隣からの選択が多い。 ● 次回以降の議題について ・本市の実情に合った学校の適正規模・適正配置の考え方や教育課題について意見を聞く予定。 7 その他 次回検討委員会 9月17日を予定 8 閉会
--	--